

防災対策推進検討会議最終報告（素案）
～ゆるぎない日本の再構築を目指して～
（骨子）

はじめに

- ・ 東日本大震災が遺した教訓
- ・ 本最終報告の位置付け

第1章 災害対策に取り組む基本姿勢～災害に強くしなやかな社会の構築のために～

- ・ 東日本大震災を踏まえ、「災害に強くしなやかな社会」を構築するため、今後、災害対策に取り組むに当たっての基本姿勢

第2章 防災政策の基本原則～災害対策のあらゆる分野で「減災」の徹底を～

- ・ 災害の発生を防ぎきることは不可能であるとの基本認識に立ち、災害対策のあらゆる分野で、被害の最小化を図る「減災」の考え方を徹底し、防災政策を推進するに当たっての基本原則

第3章 今後重点的に取り組むべき事項

第1節 災害から生命を守り、被災者の暮らしを支え・再生する取組

（1）災害から生命を守るための初動対応

- ① 基本的な考え方
- ② 情報の収集・伝達
- ③ 安全で確実な避難
- ④ 救助・消火活動
- ⑤ 救命・医療活動
- ⑥ 水・食糧等緊急物資の提供

（2）被災者に対するきめ細かな支援

- ① 基本的な考え方
- ② 避難所等における生活
- ③ 被災地への物資の円滑な供給
- ④ 広域避難
- ⑤ 住まいの確保

- ⑥ 被災者の暮らしの再生・産業振興
- ⑦ 災害時要援護者対策
- ⑧ 男女共同参画の視点
- ⑨ 被災者を支える基盤づくり

(3) ライフライン等の被害からの早期回復

- ① ライフライン、公共施設等の復旧
- ② 災害廃棄物対策

第2節 災害時の体制の充実・強化

(1) 災害即応体制の充実・強化

- ① 基本的な考え方
- ② 各主体が連携した体制整備
- ③ 国における体制整備
- ④ 地方公共団体における体制整備
- ⑤ 情報の収集・伝達のための体制・基盤の整備
- ⑥ 誘発事象への対応

(2) 自然災害による国家的な「緊急事態」への対応のあり方

- ① 基本的な考え方
- ② 自然災害による国家的な「緊急事態」での国家としての緊急措置の範囲等
- ③ 自然災害による国家的な「緊急事態」での国と地方のあり方

第3節 災害を予防するための多面的な取組

(1) 防災の基本理念の明確化と多様な主体の協働

- ① 防災の基本理念の明確化
- ② 「自助・共助」と多様な主体の協働

(2) 防災文化の継承・発展

- ① 防災教育、教訓の伝承
- ② 防災訓練の充実・強化

(3) 災害に強い国土・地域・まちの構築

(4) 最新の科学的知見を反映した防災対策

- ① 防災に関する調査・研究・観測の推進
- ② 対策の立案の考え方

第4節 迅速かつ円滑な復興への取組

第5節 国の総力を挙げた取組体制の確立

第4章 今後の防災対策の充実に向けて